

Japanese  
Brotherly Love & John Wesley  
TCA-287BRO

# 兄弟愛とジョンウェズリー



ウィリアム・マリオン・ブラハム

Japanese  
Brotherly Love & John Wesley  
TCA-287BRO

# 兄弟愛とジョンウェズリー



ウィリアム・マリオン・ブラハム



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

## はじめに

オーディオや転写された1100の説教が  
ウィリアムブラナムによって語られたものが  
無料でダウンロード可能で又多くの言語で  
印刷可能になっています。(日本語での翻訳  
あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料  
でコピー、配布することは許可されていま  
す。

[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

## はじめに

オーディオや転写された1100の説教が  
ウィリアムブラナムによって語られたものが  
無料でダウンロード可能で又多くの言語で  
印刷可能になっています。(日本語での翻訳  
あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料  
でコピー、配布することは許可されていま  
す。

[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

## 兄弟愛とジョンウエズリー

黙示録 3:7-13

「また、フィラデルフィアにある教会の御使いに書き送れ、『聖なる方、真実な方、ダビデの鍵を持っている方、彼が開くと、だれも閉じることがなく、彼が閉じると、だれも開くことがない。その方がこう言われる——。

わたしはあなたの行いを知っている。見よ。わたしは、だれも閉じることができない門を、あなたの前に開いておいた。あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。

見よ。サタンの会衆に属する者、すなわち、ユダヤ人だと自称しているが、実はそうではなく、嘘を言っている者たちに、わたしはこうする。見よ。彼らをあなたの足もとに来させてひれ伏させ、わたしがあなたを愛していることを知らせる。

## 兄弟愛とジョンウエズリー

黙示録 3:7-13

「また、フィラデルフィアにある教会の御使いに書き送れ、『聖なる方、真実な方、ダビデの鍵を持っている方、彼が開くと、だれも閉じることがなく、彼が閉じると、だれも開くことがない。その方がこう言われる——。

わたしはあなたの行いを知っている。見よ。わたしは、だれも閉じることができない門を、あなたの前に開いておいた。あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。

見よ。サタンの会衆に属する者、すなわち、ユダヤ人だと自称しているが、実はそうではなく、嘘を言っている者たちに、わたしはこうする。見よ。彼らをあなたの足もとに来させてひれ伏させ、わたしがあなたを愛していることを知らせる。

あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、地上に住む者たちを試みるために全世界に来ようとしている試練の時には、わたしもあなたを守る。

わたしはすぐに来る。あなたは、自分の冠をだれにも奪われないように、持っているものをしっかり保ちなさい。

わたしは、勝利を得る者を、わたしの神の神殿の柱とする。彼はもはや決して外に出て行くことはない。わたしは彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下って来る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書き記す。

耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』』

### ヒラデルヒア

フィラデルフィア市はサルデス市の東南方向にあり、75マイル離れていました。それはリディアの2番目に大きい町でした。それはある有名なワインの産地

あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、地上に住む者たちを試みるために全世界に来ようとしている試練の時には、わたしもあなたを守る。

わたしはすぐに来る。あなたは、自分の冠をだれにも奪われないように、持っているものをしっかり保ちなさい。

わたしは、勝利を得る者を、わたしの神の神殿の柱とする。彼はもはや決して外に出て行くことはない。わたしは彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下って来る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書き記す。

耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』』

### ヒラデルヒア

フィラデルフィア市はサルデス市の東南方向にあり、75マイル離れていました。それはリディアの2番目に大きい町でした。それはある有名なワインの産地

絶しました。名ばかりのクリスチャンはもう一度主を十字架につけ、そして真の教会を攻撃し破壊しようとしています。しかし神は真実です、そしてすべての上におられる方は戻ってこられ、その時主は誰が唯一の主権者なのかを示されます。主がご自分を世に示される時、世のすべては主の御足の前に跪き、世のすべては聖徒たちの足の前に跪き、彼らが主と一緒に立っているのは正しいことだと証明します。神が永遠に褒め称えられますように！

の中のいくつかの丘に建てられていました。その硬貨にはバッカスの頭像とバツカンテ(バッカスの女祭司)が刻まれていました。その町の市民にはユダヤ人、ユダヤ人にルーツを持つクリスチャン、異教から改心してクリスチャンになった人々がいました。その町は何度も地震に苦しみましたが、黙示録で挙げられた7つの町の中でもっとも長く続いた町でした。実はその町はまだそのトルコ語の名前で存続していて、アラシエヒル、もしくは神の町と呼ばれています。

その硬貨の刻印からその町の神はバッカスであることが垣間見えます。バッカスはニヌスもしくはニムロドと同じ意味です。彼は「哀悼する者」です、私たちのほとんどは彼のことを酒を飲み騒いで酩酊する者と考えているけれども。

これはどのような啓発を与えてくれるのでしょうか。ここに片面が神像で、片面が女祭司もしくは女預言者の硬貨があります。今硬貨をはじき上げてみましょう。どちらの面が表になるか裏にあるかで違いが生じますか。いいえ、やはり同じ硬貨です。それがイエスとマリアを信じるローマカトリックの信仰です。

ローマカトリックだけを考えているわけではありません。大淫婦だけではありません。決してそうではありません、なぜなら彼女の淫行が彼女を母親にしたか

絶しました。名ばかりのクリスチャンはもう一度主を十字架につけ、そして真の教会を攻撃し破壊しようとしています。しかし神は真実です、そしてすべての上におられる方は戻ってこられ、その時主は誰が唯一の主権者なのかを示されます。主がご自分を世に示される時、世のすべては主の御足の前に跪き、世のすべては聖徒たちの足の前に跪き、彼らが主と一緒に立っているのは正しいことだと証明します。神が永遠に褒め称えられますように！

の中のいくつかの丘に建てられていました。その硬貨にはバッカスの頭像とバツカンテ(バッカスの女祭司)が刻まれていました。その町の市民にはユダヤ人、ユダヤ人にルーツを持つクリスチャン、異教から改心してクリスチャンになった人々がいました。その町は何度も地震に苦しみましたが、黙示録で挙げられた7つの町の中でもっとも長く続いた町でした。実はその町はまだそのトルコ語の名前で存続していて、アラシエヒル、もしくは神の町と呼ばれています。

その硬貨の刻印からその町の神はバッカスであることが垣間見えます。バッカスはニヌスもしくはニムロドと同じ意味です。彼は「哀悼する者」です、私たちのほとんどは彼のことを酒を飲み騒いで酩酊する者と考えているけれども。

これはどのような啓発を与えてくれるのでしょうか。ここに片面が神像で、片面が女祭司もしくは女預言者の硬貨があります。今硬貨をはじき上げてみましょう。どちらの面が表になるか裏にあるかで違いが生じますか。いいえ、やはり同じ硬貨です。それがイエスとマリアを信じるローマカトリックの信仰です。

ローマカトリックだけを考えているわけではありません。大淫婦だけではありません。決してそうではありません、なぜなら彼女の淫行が彼女を母親にしたか

らです。今は彼女の娘たちは同じ型から造られた硬貨です。硬貨の片面に彼らはイエスに対する崇拜を立ち上げ、もう片面に彼らの女祭司もしくは女預言者にその教則と教理と教義を書かせ、それによって救われると、人々に売りつけ、そして彼女のみが真の光を持っていると主張しています。

はっきりとした事実ですが、この時代の特徴はその硬貨に描かれているのです。なぜなら母親と娘たちはみな天に向かう道を金銭で買っています。血ではなく金銭がその代価です。御霊ではなく金銭が彼らの前に進む原動力となっています。この世の神(マモン Mammon)は彼らの目を盲目にしました[2コリント 4:4]。

しかし彼らの死の中での交渉はすぐに終わります、なぜならこの時代で聖霊は「わたしは、すぐに来る。」と叫んでいるからです。主イエスよ、来てください!

### 時代

フィラデルフィア教会時代は1750年から1906年あたりまで続きました。この時代はその町の名前の意味によると、兄弟愛の時代と呼ばれてきたが、それはフィラデルフィアは「兄弟の愛」を意味するからで

「ひとりのみどりごが私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は『不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君』と呼ばれる。」

主の中で完璧に成就されました。一度は主を尊敬しなかったが、今私たちは言葉につくせない、栄に満ちた喜びで主を愛しています[1ペテロ1:8]。教会の中で主は立っておられ、私たちは主の賛美を歌い、なぜなら全能な征服者はご自分の花嫁である教会の頭であるからです。主はその花嫁を買取られました。主は彼女を所有しておられます。彼女は主のものであり、主だけのもので、主は彼女を気にかけておられます。主は私たちの王で、私たちは主の王国、主の永遠の財産です。

最初黙示録3章7節の時に、9節はその理解を助けると言っていたことを覚えていますか。私が言いたいことをわかっていたいただきたいです。イエスはご自分自身のことを聖なる方、真実な方、(もしくは唯一の真実)、ダビデの鍵を持っている方、開け閉めができる方だとおっしゃっています。そしてそれはまさに真実です。これらの聖句は主を完璧に描写しています。しかしイエスの時代のユダヤ人たちはイエスとイエスが行われたことをすべて拒絶しました。彼らは自分たちの救い主、主が彼らにとっての重大な意義をすべて拒

らです。今は彼女の娘たちは同じ型から造られた硬貨です。硬貨の片面に彼らはイエスに対する崇拜を立ち上げ、もう片面に彼らの女祭司もしくは女預言者にその教則と教理と教義を書かせ、それによって救われると、人々に売りつけ、そして彼女のみが真の光を持っていると主張しています。

はっきりとした事実ですが、この時代の特徴はその硬貨に描かれているのです。なぜなら母親と娘たちはみな天に向かう道を金銭で買っています。血ではなく金銭がその代価です。御霊ではなく金銭が彼らの前に進む原動力となっています。この世の神(マモン Mammon)は彼らの目を盲目にしました[2コリント 4:4]。

しかし彼らの死の中での交渉はすぐに終わります、なぜならこの時代で聖霊は「わたしは、すぐに来る。」と叫んでいるからです。主イエスよ、来てください!

### 時代

フィラデルフィア教会時代は1750年から1906年あたりまで続きました。この時代はその町の名前の意味によると、兄弟愛の時代と呼ばれてきたが、それはフィラデルフィアは「兄弟の愛」を意味するからで

「ひとりのみどりごが私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は『不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君』と呼ばれる。」

主の中で完璧に成就されました。一度は主を尊敬しなかったが、今私たちは言葉につくせない、栄に満ちた喜びで主を愛しています[1ペテロ1:8]。教会の中で主は立っておられ、私たちは主の賛美を歌い、なぜなら全能な征服者はご自分の花嫁である教会の頭であるからです。主はその花嫁を買取られました。主は彼女を所有しておられます。彼女は主のものであり、主だけのもので、主は彼女を気にかけておられます。主は私たちの王で、私たちは主の王国、主の永遠の財産です。

最初黙示録3章7節の時に、9節はその理解を助けると言っていたことを覚えていますか。私が言いたいことをわかっていたいただきたいです。イエスはご自分自身のことを聖なる方、真実な方、(もしくは唯一の真実)、ダビデの鍵を持っている方、開け閉めができる方だとおっしゃっています。そしてそれはまさに真実です。これらの聖句は主を完璧に描写しています。しかしイエスの時代のユダヤ人たちはイエスとイエスが行われたことをすべて拒絶しました。彼らは自分たちの救い主、主が彼らにとっての重大な意義をすべて拒

だからダビデの鍵は至福千年をもたらされるのはイエスであることを象徴します。死とよみの鍵をお持ちである主はご自分に属する人を起こされ、彼らは主の地上での正義の統治を共に享受します。

私たちの主はすべての答えをお持ちであることはなんと素晴らしいことでしょう。実に主において神のすべての約束は成就されました。実に主の中で私たちは主が私たちのために支払われたものを受け継いでいます。

そうです、栄光なる主はそこに立っておられます。一度は父として、主は天使に囲まれ、大天使たち、ケルビムたち、セラフィムたち、そしてすべての天の軍勢は、「聖なる、聖なる、聖なる、万軍の主神。」と叫んでいます。主の聖潔さで誰も主に近づくことはできませんでした。しかし今私たちは主が教会の中におられ、主の中で私たちは神の義そのものになるまでご自分の聖潔さを私たちと分かち合っておられるのを見えます。そうです、そしてそこに主は立っておられます、「イエス、完璧なるすべて。」谷間のゆり、輝く明けの明星、万人の中で最も美しい方、アルファとオメガ、ダビデの根、また子孫、父、子、そして聖霊、すべてのすべて。

イザヤ9:6

だからダビデの鍵は至福千年をもたらされるのはイエスであることを象徴します。死とよみの鍵をお持ちである主はご自分に属する人を起こされ、彼らは主の地上での正義の統治を共に享受します。

私たちの主はすべての答えをお持ちであることはなんと素晴らしいことでしょう。実に主において神のすべての約束は成就されました。実に主の中で私たちは主が私たちのために支払われたものを受け継いでいます。

そうです、栄光なる主はそこに立っておられます。一度は父として、主は天使に囲まれ、大天使たち、ケルビムたち、セラフィムたち、そしてすべての天の軍勢は、「聖なる、聖なる、聖なる、万軍の主神。」と叫んでいます。主の聖潔さで誰も主に近づくことはできませんでした。しかし今私たちは主が教会の中におられ、主の中で私たちは神の義そのものになるまでご自分の聖潔さを私たちと分かち合っておられるのを見えます。そうです、そしてそこに主は立っておられます、「イエス、完璧なるすべて。」谷間のゆり、輝く明けの明星、万人の中で最も美しい方、アルファとオメガ、ダビデの根、また子孫、父、子、そして聖霊、すべてのすべて。

イザヤ9:6

す。

## メッセンジャー

この時代の使者は疑いもなくジョン・ウェズレーでした。ジョン・ウェズレーは1703年6月17日にエプワースでサミュエルとスザンナ・ウェズレーの19人の子どもの中の一人として生まれました。彼の父親はイギリス国教会の牧師でしたが、ジョンの信仰に対する改心は彼の父親の神学理論よりも彼の母親の模範的な生活から影響を受けたようでした。ジョンは素晴らしい学者でした。彼がオックスフォードにいた頃にチャールズとともにある団体に参加したが、この団体は霊的に訓練され、教義を基準にして神を崇拜するのではなく、経験によって真理に生きる人々から成っていました。彼らは貧しい者を支援し、病人と囚人を訪ねるといった霊的な働きに関するガイドブックを設定しました。このため彼らはメソジストもしくは他の嘲笑的なタイトルで呼ばれました。さてジョンは全世界の人々は皆宗教が必要であるというビジョンの元、アメリカのジョージア州に宣教師としてインディアンの人々のところへ向かいました。旅の途中で船の大半の乗客はモラヴィア兄弟団の信徒であることに気づきました。彼はその方々のどんな状況においても柔和で平和、そして勇気のある態度に深く感銘を受けました。ジョージア州での自己犠牲かつ勤勉な働き

す。

## メッセンジャー

この時代の使者は疑いもなくジョン・ウェズレーでした。ジョン・ウェズレーは1703年6月17日にエプワースでサミュエルとスザンナ・ウェズレーの19人の子どもの中の一人として生まれました。彼の父親はイギリス国教会の牧師でしたが、ジョンの信仰に対する改心は彼の父親の神学理論よりも彼の母親の模範的な生活から影響を受けたようでした。ジョンは素晴らしい学者でした。彼がオックスフォードにいた頃にチャールズとともにある団体に参加したが、この団体は霊的に訓練され、教義を基準にして神を崇拜するのではなく、経験によって真理に生きる人々から成っていました。彼らは貧しい者を支援し、病人と囚人を訪ねるといった霊的な働きに関するガイドブックを設定しました。このため彼らはメソジストもしくは他の嘲笑的なタイトルで呼ばれました。さてジョンは全世界の人々は皆宗教が必要であるというビジョンの元、アメリカのジョージア州に宣教師としてインディアンの人々のところへ向かいました。旅の途中で船の大半の乗客はモラヴィア兄弟団の信徒であることに気づきました。彼はその方々のどんな状況においても柔和で平和、そして勇気のある態度に深く感銘を受けました。ジョージア州での自己犠牲かつ勤勉な働き

にもかかわらず、彼の苦労は失敗に終わりました。彼はイングランドに戻ってこう叫びました、「わたしはアメリカに行ってインディアンの人々をキリストに改心させたが、ああ、誰がわたしを改心させるだろう！」

ロンドンに戻ってから彼は再びモラヴィア兄弟団の方々に会いました。ペーター・ペーラーが彼に救いの道を示しました。彼は本当に新しく生まれ変わりました。このことは彼の兄であるチャールズをひどくろうばいさせそして怒りを感じさせました。チャールズはなぜジョンのような霊的な人が自分はこれまで神と良い関係ではなかったと言うのかを理解することができませんでした。しかし、その後まもなく、チャールズも恵みによって救われました。

ウェスレーはロンドンの昔訪ねた所に説教しに行き、福音を宣べ伝えはじめました。しかしすぐに彼らは彼を拒絶しました。この時、彼の古い友人であるジョージ・ホワイトフィールドが彼を助けました。彼は何千もの人々が御言葉を聞く野外で伝道し、自分を助けてくれるようにジョンを招きました。最初ウェスレーは自分は建物の中ではなく、野外集会で伝道すべきかどうか疑問を持ちました。しかし、彼が大勢の聴衆を目の当たりにし、福音が御霊の力で働いていることを見た時、彼はこのような伝道に誠心誠意に転じて務めました。

にもかかわらず、彼の苦労は失敗に終わりました。彼はイングランドに戻ってこう叫びました、「わたしはアメリカに行ってインディアンの人々をキリストに改心させたが、ああ、誰がわたしを改心させるだろう！」

ロンドンに戻ってから彼は再びモラヴィア兄弟団の方々に会いました。ペーター・ペーラーが彼に救いの道を示しました。彼は本当に新しく生まれ変わりました。このことは彼の兄であるチャールズをひどくろうばいさせそして怒りを感じさせました。チャールズはなぜジョンのような霊的な人が自分はこれまで神と良い関係ではなかったと言うのかを理解することができませんでした。しかし、その後まもなく、チャールズも恵みによって救われました。

ウェスレーはロンドンの昔訪ねた所に説教しに行き、福音を宣べ伝えはじめました。しかしすぐに彼らは彼を拒絶しました。この時、彼の古い友人であるジョージ・ホワイトフィールドが彼を助けました。彼は何千もの人々が御言葉を聞く野外で伝道し、自分を助けてくれるようにジョンを招きました。最初ウェスレーは自分は建物の中ではなく、野外集会で伝道すべきかどうか疑問を持ちました。しかし、彼が大勢の聴衆を目の当たりにし、福音が御霊の力で働いていることを見た時、彼はこのような伝道に誠心誠意に転じて務めました。

会も含め、世界教会統一運動において、自分たちの組織の中に頭として生けるアンチキリストを置き、彼は主を退け、そして私たちは主(キリスト)が教会の外でこう言われているのを聞きます、

「見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。」

黙示録3:20

しかしこれを言わせてください。私たちの主は敗れることはありません。人々は神に通じるドアを開け閉めできると主張しているが、彼らは嘘つきです。父が主に与えられた人は皆主のところに來ます、來た者は決して捨てられることはなく、主は彼らを誰一人失うことはありません。ヨハネ6:37-39。そしてキリストの身体の最後の選ばれた一員が入ってきたとき、主は現れます。

ダビデの鍵。ダビデはイスラエル、全イスラエルの王ではありませんか。聖書によると、ダビデの子であるイエスは至福千年の時にダビデの御座に座られ、ご自分の財産を統治し、管理されます。もちろん。

会も含め、世界教会統一運動において、自分たちの組織の中に頭として生けるアンチキリストを置き、彼は主を退け、そして私たちは主(キリスト)が教会の外でこう言われているのを聞きます、

「見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。」

黙示録3:20

しかしこれを言わせてください。私たちの主は敗れることはありません。人々は神に通じるドアを開け閉めできると主張しているが、彼らは嘘つきです。父が主に与えられた人は皆主のところに來ます、來た者は決して捨てられることはなく、主は彼らを誰一人失うことはありません。ヨハネ6:37-39。そしてキリストの身体の最後の選ばれた一員が入ってきたとき、主は現れます。

ダビデの鍵。ダビデはイスラエル、全イスラエルの王ではありませんか。聖書によると、ダビデの子であるイエスは至福千年の時にダビデの御座に座られ、ご自分の財産を統治し、管理されます。もちろん。

しかし人々はこの真理を心に留めましたか。彼らのご自分の教会に対する完全なる至高な権力を唯一お持ちな主に対して敬意を払っていますか。私は、「いいえ」と言います。なぜならすべての時代で教会はある聖職階級制度、祭司職、使徒継承によって支配され、それは人々への憐れみと恵のドアを閉じ、愛と責任を負わず、金銭への欲で彼女を捕まりそして破壊しました。聖職者は贅沢に暮らし、貧困な教会は虐待のさやを飲み込みました。そしてどの時代も一緒でした。それぞれが自分を組織に縛り付け、人に支配権を渡し、教会をその支配に委ねました。もし人々が反抗しようとするものなら、残虐に迫害され、追い出されたりしました。すべての宗派は同じ霊を持っています。すべての宗派が教会を支配する鍵を持っていると断言します。すべての宗派はドアを開けられると主張します。しかしそれは真理ではありません。それはイエスです、イエスのみです。主がご自分の体の一員を決められました。主は彼らにそれぞれのミニストリーを与えられました。主は賜物をくださり、彼女が使えるようにされました。主は彼女を気にかけて、導かれます。彼女は主のみの財産であり、彼女のほかにありません。

私たちが暮らしているこの教会時代は現実からなんと遠ざかっているのでしょうか。そして近い将来、教会のために代弁すると主張している人々は、今の教

しかし人々はこの真理を心に留めましたか。彼らのご自分の教会に対する完全なる至高な権力を唯一お持ちな主に対して敬意を払っていますか。私は、「いいえ」と言います。なぜならすべての時代で教会はある聖職階級制度、祭司職、使徒継承によって支配され、それは人々への憐れみと恵のドアを閉じ、愛と責任を負わず、金銭への欲で彼女を捕まりそして破壊しました。聖職者は贅沢に暮らし、貧困な教会は虐待のさやを飲み込みました。そしてどの時代も一緒でした。それぞれが自分を組織に縛り付け、人に支配権を渡し、教会をその支配に委ねました。もし人々が反抗しようとするものなら、残虐に迫害され、追い出されたりしました。すべての宗派は同じ霊を持っています。すべての宗派が教会を支配する鍵を持っていると断言します。すべての宗派はドアを開けられると主張します。しかしそれは真理ではありません。それはイエスです、イエスのみです。主がご自分の体の一員を決められました。主は彼らにそれぞれのミニストリーを与えられました。主は賜物をくださり、彼女が使えるようにされました。主は彼女を気にかけて、導かれます。彼女は主のみの財産であり、彼女のほかにありません。

私たちが暮らしているこの教会時代は現実からなんと遠ざかっているのでしょうか。そして近い将来、教会のために代弁すると主張している人々は、今の教

福音の働きはすぐに大きく展開し、彼は御言葉を宣べ伝えるのに大勢の平信者を遣わし始めました。これはまるでペンテコステの時のように、御霊が力を持つ人々を起こし、御言葉をほぼ夜通しで伝道し、教えました。

彼の仕事は強烈な反対に会いましたが、神は彼とともにおられ、御霊の働きが大いに表れ、人々にその罪を気づかせ、力を失わせました。人々は自分の罪の自覚のために非常に苦しみ、地に倒れて泣きました。

ウェズレーは非常に強い人でした。彼は自分が新しく生まれ変わってから瞬時も霊的に低下したと感じたことがないと言います。彼の1日あたりの睡眠時間は6時間未満でした。ほぼ毎朝5時に起きて伝道をし、毎日4回伝道して、1年間にした伝道は800回を超えました。

彼は巡回牧師とともに福音を近所や遠方に伝えるのに何千マイルも、旅をしました。事実ウェズレーは毎年、馬で平均4500マイルもの旅をしました。

彼は神の御力を信じ、力強い信仰で病人のためにお祈りをし、驚くべき結果を得ています。

彼の集会の多くで御霊の賜物の表れが見られました。

福音の働きはすぐに大きく展開し、彼は御言葉を宣べ伝えるのに大勢の平信者を遣わし始めました。これはまるでペンテコステの時のように、御霊が力を持つ人々を起こし、御言葉をほぼ夜通しで伝道し、教えました。

彼の仕事は強烈な反対に会いましたが、神は彼とともにおられ、御霊の働きが大いに表れ、人々にその罪を気づかせ、力を失わせました。人々は自分の罪の自覚のために非常に苦しみ、地に倒れて泣きました。

ウェズレーは非常に強い人でした。彼は自分が新しく生まれ変わってから瞬時も霊的に低下したと感じたことがないと言います。彼の1日あたりの睡眠時間は6時間未満でした。ほぼ毎朝5時に起きて伝道をし、毎日4回伝道して、1年間にした伝道は800回を超えました。

彼は巡回牧師とともに福音を近所や遠方に伝えるのに何千マイルも、旅をしました。事実ウェズレーは毎年、馬で平均4500マイルもの旅をしました。

彼は神の御力を信じ、力強い信仰で病人のためにお祈りをし、驚くべき結果を得ています。

彼の集会の多くで御霊の賜物の表れが見られました。

ウェスレーは組織を作ろうとしませんでした。彼の仲間たちは「連合会」を作り、彼らは「敬虔な外見があり、神の御力を探し求め、共に祈るために連合し、訓戒の御言葉を聞き入れ、愛のうちに互いに確かめ合い、救いのために助け合いました。」。加入したい人が持つべき唯一の条件は「これから来る怒りから逃れたい、自分の罪から救われたいという願望を持っている」ことです。徐々に彼らが魂のための自己規制で一連の厳しい規定を設定したので。ウェスレーは自分の死後その運動が組織化され、神の御霊はそこから離れ、死んだ形式だけが残されることに気づきました。メソジストの名前が地上から消えることは恐れないが、御言葉がそこから飛んで離れてしまうことを恐れていたのだと、ある時彼は述べました。

人生の中で、彼は莫大な富を手に入れることが可能だったが、彼はそうしませんでした。金銭に対して彼が一番好きな格言は、「できるだけ稼ぎ、できるだけ貯蓄し、できるだけ捧げる」なのです。もしウェスレーが戻ってきて、今日メソジストの名を名乗る教会を見たら、彼はなんと違和感を覚えることでしょうか。彼らは富んでいます、非常に富んでいます。しかしジョン・ウェスレーが持っていたいのちと力は失われてしまいました。

ウェスレーは一度も宗派的もしくは学派的な基

ウェスレーは組織を作ろうとしませんでした。彼の仲間たちは「連合会」を作り、彼らは「敬虔な外見があり、神の御力を探し求め、共に祈るために連合し、訓戒の御言葉を聞き入れ、愛のうちに互いに確かめ合い、救いのために助け合いました。」。加入したい人が持つべき唯一の条件は「これから来る怒りから逃れたい、自分の罪から救われたいという願望を持っている」ことです。徐々に彼らが魂のための自己規制で一連の厳しい規定を設定したので。ウェスレーは自分の死後その運動が組織化され、神の御霊はそこから離れ、死んだ形式だけが残されることに気づきました。メソジストの名前が地上から消えることは恐れないが、御言葉がそこから飛んで離れてしまうことを恐れていたのだと、ある時彼は述べました。

人生の中で、彼は莫大な富を手に入れることが可能だったが、彼はそうしませんでした。金銭に対して彼が一番好きな格言は、「できるだけ稼ぎ、できるだけ貯蓄し、できるだけ捧げる」なのです。もしウェスレーが戻ってきて、今日メソジストの名を名乗る教会を見たら、彼はなんと違和感を覚えることでしょうか。彼らは富んでいます、非常に富んでいます。しかしジョン・ウェスレーが持っていたいのちと力は失われてしまいました。

ウェスレーは一度も宗派的もしくは学派的な基

しかしこれが意味することはなんでしょう。答えはこれです。「主権はその肩にあり」という聖句は東洋の婚礼から来ています。花嫁が自分自身のことを花婿に委ねた時、彼女は自分のベールを下ろし、それを花婿の肩に置きます。これは彼女が彼の支配下にあることだけでなく、自分の権利を彼のところに移行するという、そして彼が頭であり、それだけでなく、彼は責任と気配りの義務を負い、そしてそれは彼で彼のみであり、他の人、別の男性、別の権力がそういう権利と責任を持たないことを象徴します。そして親愛なる兄弟姉妹たちよ、それがダビデの鍵です。神はいと高き方であり、至高の神性によって誰が自分の花嫁なのかをご存知です。主は彼女を選ばれました。彼女が主を選んだのではありません。主が彼女を呼ばれました。彼女が自分で来たのではありません。主は彼女のために亡くなりました。主は彼女を自分の御血で洗われました。主は彼女のために代償を支払われました。彼女は主に属し、そして主のみに属します。彼女は完全に自分のことを主に委ね、そして主は義務を受け入れられました。主は彼女の頭です、なぜならキリストは教会の頭なのです。サラがアブラハムのことを主と呼んでいたように、花嫁も主が彼女の主であることを嬉しく思っています。主が話され、彼女は聞き入れます、なぜなら喜んで聞くからです。

しかしこれが意味することはなんでしょう。答えはこれです。「主権はその肩にあり」という聖句は東洋の婚礼から来ています。花嫁が自分自身のことを花婿に委ねた時、彼女は自分のベールを下ろし、それを花婿の肩に置きます。これは彼女が彼の支配下にあることだけでなく、自分の権利を彼のところに移行するという、そして彼が頭であり、それだけでなく、彼は責任と気配りの義務を負い、そしてそれは彼で彼のみであり、他の人、別の男性、別の権力がそういう権利と責任を持たないことを象徴します。そして親愛なる兄弟姉妹たちよ、それがダビデの鍵です。神はいと高き方であり、至高の神性によって誰が自分の花嫁なのかをご存知です。主は彼女を選ばれました。彼女が主を選んだのではありません。主が彼女を呼ばれました。彼女が自分で来たのではありません。主は彼女のために亡くなりました。主は彼女を自分の御血で洗われました。主は彼女のために代償を支払われました。彼女は主に属し、そして主のみに属します。彼女は完全に自分のことを主に委ね、そして主は義務を受け入れられました。主は彼女の頭です、なぜならキリストは教会の頭なのです。サラがアブラハムのことを主と呼んでいたように、花嫁も主が彼女の主であることを嬉しく思っています。主が話され、彼女は聞き入れます、なぜなら喜んで聞くからです。

「わたしはまた、彼の肩にダビデの家の鍵を置く。彼が開くと、閉じる者はなく、彼が閉じると、開く者はない。」

御霊はこの旧約聖書の聖句を引用して主イエス・キリストおよび教会における主のミニストリーを暗示されています。ダビデの鍵が象徴するものはあの時はまだ影に過ぎなかったのですが、今、イエスが燭台の間に立っておられることで成就されました。これは主の復活後のことについてのものであり、主がこの世での一生の間でのことを指していません。しかしこの鍵は何を象徴しているのでしょうか。答えは鍵が置かれている場所に隠れています。それは主の手ではありません。それは主の首に掛かっていません。それは他の人の手にも置かれておらず、さもないとその聖句は主のみがその鍵を使うことができるとは言えない、なぜなら主のみが開け閉めでき、イエス以外誰もその権利はないのです。そうではありませんか。しかしその鍵はどこにあるのでしょうか。それは主の肩にあります。しかし肩と鍵はどのような関係があるのでしょうか。

イザヤ9:6を読んでください、

「そして、政府は彼の肩にあるでしょう。」

「わたしはまた、彼の肩にダビデの家の鍵を置く。彼が開くと、閉じる者はなく、彼が閉じると、開く者はない。」

御霊はこの旧約聖書の聖句を引用して主イエス・キリストおよび教会における主のミニストリーを暗示されています。ダビデの鍵が象徴するものはあの時はまだ影に過ぎなかったのですが、今、イエスが燭台の間に立っておられることで成就されました。これは主の復活後のことについてのものであり、主がこの世での一生の間でのことを指していません。しかしこの鍵は何を象徴しているのでしょうか。答えは鍵が置かれている場所に隠れています。それは主の手ではありません。それは主の首に掛かっていません。それは他の人の手にも置かれておらず、さもないとその聖句は主のみがその鍵を使うことができるとは言えない、なぜなら主のみが開け閉めでき、イエス以外誰もその権利はないのです。そうではありませんか。しかしその鍵はどこにあるのでしょうか。それは主の肩にあります。しかし肩と鍵はどのような関係があるのでしょうか。

イザヤ9:6を読んでください、

「そして、政府は彼の肩にあるでしょう。」

礎に基づく働きを行うことを望まなかったことも言及すべきです。彼は信仰においてはアルミニウム主義に属するが、教義の違いでは他の兄弟たちと離れたくありませんでした。彼はヤコブ書を一番よく実践していた者でした：単に信条や教義的な声明を受け入れるよりも、信仰や働き、もしくはその生き様で永遠のいのちを得ました。ジョン・ウェズレーは88歳で亡くなり、誰も考えつかない、ましてやできるとも思えないような形で、神に仕えました。

### メッセージ

黙示録 3:7

「また、フィラデルフィアにある教会の御使いに書き送れ、『聖なる方、真実な方、ダビデの鍵を持っている方、彼が開くと、だれも閉じることがなく、彼が閉じると、だれも開くことがない。その方がこう言われる——。』

ああ、これらの言葉はなんと美しいことでしょう。それらの言葉の響きでさえなんと威厳があることでしょう。これらの全ての属性がある方に帰するのを考えるのはなんとワクワクすることでしょう。栄光の主、イエス・キリスト以外誰が自分についてこう語れるでし

礎に基づく働きを行うことを望まなかったことも言及すべきです。彼は信仰においてはアルミニウム主義に属するが、教義の違いでは他の兄弟たちと離れたくありませんでした。彼はヤコブ書を一番よく実践していた者でした：単に信条や教義的な声明を受け入れるよりも、信仰や働き、もしくはその生き様で永遠のいのちを得ました。ジョン・ウェズレーは88歳で亡くなり、誰も考えつかない、ましてやできるとも思えないような形で、神に仕えました。

### メッセージ

黙示録 3:7

「また、フィラデルフィアにある教会の御使いに書き送れ、『聖なる方、真実な方、ダビデの鍵を持っている方、彼が開くと、だれも閉じることがなく、彼が閉じると、だれも開くことがない。その方がこう言われる——。』

ああ、これらの言葉はなんと美しいことでしょう。それらの言葉の響きでさえなんと威厳があることでしょう。これらの全ての属性がある方に帰するのを考えるのはなんとワクワクすることでしょう。栄光の主、イエス・キリスト以外誰が自分についてこう語れるでし

ようか。これらの素晴らしい描写の聖句の意味の解釈は第9節で見つけられると信じています。

「見よ。サタンの会衆に属する者、すなわち、ユダヤ人だと自称しているが、実はそうではなく、嘘を言っている者たちに、わたしはこうする。見よ。彼らをあなたの足もとに來させてひれ伏させ、わたしがあなたを愛していることを知らせる。」

この節がとても重要だと言っているのは、それがいつも自分たちのことを神の子どもと呼び、他の人たちを排除するユダヤ人たちについて言及しているからです。彼らは主イエス・キリストを十字架につけて殺害しました。彼らの恐ろしい行いによって、彼らは何世紀もの間、迫害されました。これらはすべてイエスがメサイアであるにもかかわらず、彼らがイエスを自分たちのメサイアとして受け入れることを拒絶したからです。彼らにとって主はこれから來られる方、もしくはダビデの子ではなく、彼らにとって主はベルゼブル[マタイ12:24]、または不義で破壊に遭うべき人でした。しかしそうではありませんでした。主はもちろんインマヌエルで[マタイ1:23]、神が肉においての現れでした[1テモテ3:16]。主はもちろんメサイアです。もちろん、主は今そうでおられるように、昔もそうでした。主は、同じイ

ようか。これらの素晴らしい描写の聖句の意味の解釈は第9節で見つけられると信じています。

「見よ。サタンの会衆に属する者、すなわち、ユダヤ人だと自称しているが、実はそうではなく、嘘を言っている者たちに、わたしはこうする。見よ。彼らをあなたの足もとに來させてひれ伏させ、わたしがあなたを愛していることを知らせる。」

この節がとても重要だと言っているのは、それがいつも自分たちのことを神の子どもと呼び、他の人たちを排除するユダヤ人たちについて言及しているからです。彼らは主イエス・キリストを十字架につけて殺害しました。彼らの恐ろしい行いによって、彼らは何世紀もの間、迫害されました。これらはすべてイエスがメサイアであるにもかかわらず、彼らがイエスを自分たちのメサイアとして受け入れることを拒絶したからです。彼らにとって主はこれから來られる方、もしくはダビデの子ではなく、彼らにとって主はベルゼブル[マタイ12:24]、または不義で破壊に遭うべき人でした。しかしそうではありませんでした。主はもちろんインマヌエルで[マタイ1:23]、神が肉においての現れでした[1テモテ3:16]。主はもちろんメサイアです。もちろん、主は今そうでおられるように、昔もそうでした。主は、同じイ

今は主のみ。  
とにかく永遠に、  
私はイエスのみを歌う。  
全てはイエスにあり、  
イエスは全て。」

非常に満足できるものであろうと、とても良い美しいものであろうと、この世の命はなんでもないものです。あなたはキリストの中にすべての完璧を足し合わせたを見つめます。主がいなければすべてのものが無意味なものとして消え去ります。

「ダビデの鍵を持っている方」この美しい聖句は前の聖句である、「真実な方」に続いています。すなわちキリストです、完璧の認識です、部分的な認識と反対な意味です。ここです。モーセは神の預言者だったが、イエスは(モーセのように)神の預言者でした。ダビデ(神を喜ばせた人)はイスラエルの王だったが、しかしイエスはさらなる偉大なダビデ、王の王、主の主、神御自身です。ダビデはユダの部族出身で、そこから祭司は出なかったが、祭司に与えられる臨在のパンを食べました。彼は敵に勝った偉大な戦士で、人々を守り、御座に座りました。彼は預言者でした。彼はキリストの驚くべき象徴でした。

イザヤ22:22でこう書かれています、

今は主のみ。  
とにかく永遠に、  
私はイエスのみを歌う。  
全てはイエスにあり、  
イエスは全て。」

非常に満足できるものであろうと、とても良い美しいものであろうと、この世の命はなんでもないものです。あなたはキリストの中にすべての完璧を足し合わせたを見つめます。主がいなければすべてのものが無意味なものとして消え去ります。

「ダビデの鍵を持っている方」この美しい聖句は前の聖句である、「真実な方」に続いています。すなわちキリストです、完璧の認識です、部分的な認識と反対な意味です。ここです。モーセは神の預言者だったが、イエスは(モーセのように)神の預言者でした。ダビデ(神を喜ばせた人)はイスラエルの王だったが、しかしイエスはさらなる偉大なダビデ、王の王、主の主、神御自身です。ダビデはユダの部族出身で、そこから祭司は出なかったが、祭司に与えられる臨在のパンを食べました。彼は敵に勝った偉大な戦士で、人々を守り、御座に座りました。彼は預言者でした。彼はキリストの驚くべき象徴でした。

イザヤ22:22でこう書かれています、

なし」を歌わず、「血潮そして私の行いのほかなし」を歌います。さて、私は良い行いを信じます。もし救われたのであれば、正しい行いします。もうその点について話しました。しかし今教えましょう、救いはイエスプラス何かではありません。それはイエスのみです。救いは主のものです[ヨナ2:9]。始まりから終わりまで全て神です。主の命が私の中にありますように。主の御血が私を清めますように。主の御霊が私を満たすように。主の御言葉が私の心と口の中にありますように。主の打ち傷が私を癒すように[イザヤ53:5,マタイ8:17,1ペテロ2:24]。イエスです、イエスのみです。私たちが行った義のわざによってではないです [テトス3:5]。いいえ。キリストは私の命です。アーメン。

私は自分がこれらの真理を話し続けることができていると感じていますが、もう一点お話ししましょう。それはA.B.シンプソンが書いた素晴らしい歌についてです。

「昔は祝福、  
今は主。  
昔は感覚、  
今は主の御言葉。  
昔は主の賜物を求め、  
今は与える方を。  
昔は癒しを求め、

なし」を歌わず、「血潮そして私の行いのほかなし」を歌います。さて、私は良い行いを信じます。もし救われたのであれば、正しい行いします。もうその点について話しました。しかし今教えましょう、救いはイエスプラス何かではありません。それはイエスのみです。救いは主のものです[ヨナ2:9]。始まりから終わりまで全て神です。主の命が私の中にありますように。主の御血が私を清めますように。主の御霊が私を満たすように。主の御言葉が私の心と口の中にありますように。主の打ち傷が私を癒すように[イザヤ53:5,マタイ8:17,1ペテロ2:24]。イエスです、イエスのみです。私たちが行った義のわざによってではないです [テトス3:5]。いいえ。キリストは私の命です。アーメン。

私は自分がこれらの真理を話し続けることができていると感じていますが、もう一点お話ししましょう。それはA.B.シンプソンが書いた素晴らしい歌についてです。

「昔は祝福、  
今は主。  
昔は感覚、  
今は主の御言葉。  
昔は主の賜物を求め、  
今は与える方を。  
昔は癒しを求め、

エス、昨日も、今日も、いつまでも同じイエス・キリストです。燭台の真ん中におられた聖なる方はガラリアの海辺で歩いておられた同じイエスで、病人を癒され、死者を蘇らせ、罪がないと定められたにも関わらず十字架につけられ、殺された方です。しかし主は再び蘇り、そしていと高き所で、大いなる方の右の座に着かれました。

ユダヤ人は当時主を聖なる方と呼びませんでした。彼らは今も主を聖なる方と呼びません。しかし、主は聖なる方です。

詩篇16:10、

「あなたは私の魂を地獄に置き去りにしないからです。また、あなたの聖なる者が墮落するのを見るのを許してはなりません。」

彼らは律法によって自分たちの義を探し求めましたが、惨めな失敗に終わりました、なぜなら肉なる者は律法によって義と認められることができないからです[ガラテア2:16]。誰も律法によって聖となることはできません。聖は主から来るものです。

1コリント1:30、

エス、昨日も、今日も、いつまでも同じイエス・キリストです。燭台の真ん中におられた聖なる方はガラリアの海辺で歩いておられた同じイエスで、病人を癒され、死者を蘇らせ、罪がないと定められたにも関わらず十字架につけられ、殺された方です。しかし主は再び蘇り、そしていと高き所で、大いなる方の右の座に着かれました。

ユダヤ人は当時主を聖なる方と呼びませんでした。彼らは今も主を聖なる方と呼びません。しかし、主は聖なる方です。

詩篇16:10、

「あなたは私の魂を地獄に置き去りにしないからです。また、あなたの聖なる者が墮落するのを見るのを許してはなりません。」

彼らは律法によって自分たちの義を探し求めましたが、惨めな失敗に終わりました、なぜなら肉なる者は律法によって義と認められることができないからです[ガラテア2:16]。誰も律法によって聖となることはできません。聖は主から来るものです。

1コリント1:30、

「しかし、あなたがたは神によってキリスト・イエスのうちにあります。キリストは、私たちにとって神からの知恵、すなわち、義と聖と贖いになりました。」

2コリント5:21、

「それは、私たちがこの方であって神の義となるためです。」

キリストを認めなければ、滅びることになります、そして彼らは主を拒絶したため滅びました。

あの時代の人々、そして今日の人々でさえも同じ間違いをおかしています。ユダヤ人がユダヤ教会での礼拝で自分たちを守ろうとしたのと同じように、フィラデルフィア時代の人々も教会に入ることで自分たちを守ろうとしました。教会に入ることが重要ではありません。いのちは教会の中ではありません。いのちはキリストの中にあります。「その証しとは、神が私たちに永遠のいのちを与えてくださったということ、そして、そのいのちが御子のうちにあるということです。御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者はいのちを持っていません。」「[1ヨハネ5:11-12]人は聖霊によって聖とされるのです。イエスを死から蘇らせた聖なる御霊が私たちの中に入れ、その聖潔さでもって

「しかし、あなたがたは神によってキリスト・イエスのうちにあります。キリストは、私たちにとって神からの知恵、すなわち、義と聖と贖いになりました。」

2コリント5:21、

「それは、私たちがこの方であって神の義となるためです。」

キリストを認めなければ、滅びることになります、そして彼らは主を拒絶したため滅びました。

あの時代の人々、そして今日の人々でさえも同じ間違いをおかしています。ユダヤ人がユダヤ教会での礼拝で自分たちを守ろうとしたのと同じように、フィラデルフィア時代の人々も教会に入ることで自分たちを守ろうとしました。教会に入ることが重要ではありません。いのちは教会の中ではありません。いのちはキリストの中にあります。「その証しとは、神が私たちに永遠のいのちを与えてくださったということ、そして、そのいのちが御子のうちにあるということです。御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者はいのちを持っていません。」「[1ヨハネ5:11-12]人は聖霊によって聖とされるのです。イエスを死から蘇らせた聖なる御霊が私たちの中に入れ、その聖潔さでもって

それはローマ8:2で言われているように、

「キリスト・イエスにあるいのちの御霊の律法が、罪と死の律法からあなたを解放したからです。」

しかしイエスの時代のユダヤ人はその献げ物を受け入れたくありませんでした。雄牛と雄やぎの血は完璧ではありませんでした[ヘブル10:4]。それは一度は神が決められた方法ではありました。しかし今キリストが肉のうちに現れ、御自分の血を流すことで罪を除かれ、そして御自分を献げることで私たちに完璧にされました[ヘブル10:5,10,17-18]。ユダヤ人はそれを受け入れることはできませんでした。しかしフィラデルフィア時代、そしてそのほかの時代はどうでしたか。彼らは本当にこのキリストにある真実を受け入れましたか。いいえ。ルターが義認の真理をもたらしたが、ローマ教会、そしてその東側の相棒である東方正教会はまだ行いを強調しました。

行いは良いことですが、それらはあなたを救うことはできません。あなたを完璧にすることはできません。キリストか滅びかどちらかです。そしてそれはキリストおよび行いですらないのです。それはただキリストのみです。この時代からキリストを真実として信じないアルミニウス主義が始まりました。それは「血潮のほか

それはローマ8:2で言われているように、

「キリスト・イエスにあるいのちの御霊の律法が、罪と死の律法からあなたを解放したからです。」

しかしイエスの時代のユダヤ人はその献げ物を受け入れたくありませんでした。雄牛と雄やぎの血は完璧ではありませんでした[ヘブル10:4]。それは一度は神が決められた方法ではありました。しかし今キリストが肉のうちに現れ、御自分の血を流すことで罪を除かれ、そして御自分を献げることで私たちに完璧にされました[ヘブル10:5,10,17-18]。ユダヤ人はそれを受け入れることはできませんでした。しかしフィラデルフィア時代、そしてそのほかの時代はどうでしたか。彼らは本当にこのキリストにある真実を受け入れましたか。いいえ。ルターが義認の真理をもたらしたが、ローマ教会、そしてその東側の相棒である東方正教会はまだ行いを強調しました。

行いは良いことですが、それらはあなたを救うことはできません。あなたを完璧にすることはできません。キリストか滅びかどちらかです。そしてそれはキリストおよび行いですらないのです。それはただキリストのみです。この時代からキリストを真実として信じないアルミニウス主義が始まりました。それは「血潮のほか

他の預言者たちは聖書の中でメサイアに関する光をもたらしました。したがってイスラエルは光がありました。しかし今その光が満たされる時が来ました、昔光っていた御言葉は今神が自分の民の間で表されたことによって光輝きました。火の柱が夜光を与えたように、それは素晴らしいことでしたが、今光といのちは神の満ち満ちたご性質に形をとって表れています。

イスラエル人は昔赤い雌牛を引いてきて、罪の赦しのためにその牛を祭壇の上で献げます。一年分の罪は覆われました。しかしその覆いは罪の欲望を取り去ることはできませんでした。それは完璧な献げ物ではありませんでした。それは本物が来るまでの影でした。そのため毎年人は献げ物をして、そして毎年再び戻って来る、なぜなら彼はまだ同じ罪の欲望を持っていたからです。動物の命は彼の罪の償いをしましたが、しかし流れたのは動物の血であり、献げられた動物の命はその人に戻ってきません。もし戻ってきても役に立つことはありません。しかし完璧な代替物であるキリストが献げられた時、彼の血は流れ、そしてキリストの中にあつた命は悔い改める罪人に戻ります。そしてその命はキリストの完璧な命となり、罪がなく、義であることから、その罪人は罪の欲望を持たなくなったため、自由なることができます。イエスの命は彼に戻ってきました。

他の預言者たちは聖書の中でメサイアに関する光をもたらしました。したがってイスラエルは光がありました。しかし今その光が満たされる時が来ました、昔光っていた御言葉は今神が自分の民の間で表されたことによって光輝きました。火の柱が夜光を与えたように、それは素晴らしいことでしたが、今光といのちは神の満ち満ちたご性質に形をとって表れています。

イスラエル人は昔赤い雌牛を引いてきて、罪の赦しのためにその牛を祭壇の上で献げます。一年分の罪は覆われました。しかしその覆いは罪の欲望を取り去ることはできませんでした。それは完璧な献げ物ではありませんでした。それは本物が来るまでの影でした。そのため毎年人は献げ物をして、そして毎年再び戻って来る、なぜなら彼はまだ同じ罪の欲望を持っていたからです。動物の命は彼の罪の償いをしましたが、しかし流れたのは動物の血であり、献げられた動物の命はその人に戻ってきません。もし戻ってきても役に立つことはありません。しかし完璧な代替物であるキリストが献げられた時、彼の血は流れ、そしてキリストの中にあつた命は悔い改める罪人に戻ります。そしてその命はキリストの完璧な命となり、罪がなく、義であることから、その罪人は罪の欲望を持たなくなったため、自由なることができます。イエスの命は彼に戻ってきました。

私たちが聖にされるのです。

そこでその方、聖なる方は立っておられました。そして私たちは主と共に立ち、主の義を身につけ、主の聖潔で聖となります。

この時代は第6つ目の時代です。神の御目の中で、時は終わりに近づいています。主はすぐに戻って来られます。主が戻って来られるとすぐに叫び声が発せられます、

「汚れた者は、ますます汚れた者とならせなさい。正しい者には、ますます正しいことを行わせ、聖なる者は、ますます聖なる者とならせなさい。」

黙示録22:11

ああ、なんと嬉しいことでしょうか、私が聖とされることは私自身によるものでないのです。キリストの中において、主のすべての義の奇妙な性質が私の中に入ることに嬉しく思います。そうです、私に与えられました。神は永遠に褒め称えられるべきです！

「真実の方がこう言われる。」さてこの言葉「真実」、はとても奇妙な言葉です。これは単に偽りの反義語の真実の意味ではありません。これは部分的な

私たちが聖にされるのです。

そこでその方、聖なる方は立っておられました。そして私たちは主と共に立ち、主の義を身につけ、主の聖潔で聖となります。

この時代は第6つ目の時代です。神の御目の中で、時は終わりに近づいています。主はすぐに戻って来られます。主が戻って来られるとすぐに叫び声が発せられます、

「汚れた者は、ますます汚れた者とならせなさい。正しい者には、ますます正しいことを行わせ、聖なる者は、ますます聖なる者とならせなさい。」

黙示録22:11

ああ、なんと嬉しいことでしょうか、私が聖とされることは私自身によるものでないのです。キリストの中において、主のすべての義の奇妙な性質が私の中に入ることに嬉しく思います。そうです、私に与えられました。神は永遠に褒め称えられるべきです！

「真実の方がこう言われる。」さてこの言葉「真実」、はとても奇妙な言葉です。これは単に偽りの反義語の真実の意味ではありません。これは部分的な

認識と反対な意味で、完全なる認識を表しています。

例えばイエスがヨハネ6:32に言われたことを思い出してください、

「モーセがあなたがたに天からのパンを与えたのではありません。わたしの父が、あなたがたに天からのまことのパンを与えてくださるのです。」

ヨハネ15:1、

「わたしはまことのぶどうの木」

ヘブル9:24、

「キリストは、本物の模型にすぎない、人の手で造られた聖所に入られたのではなく、天そのものに入られたのです。そして今、私たちのために神の御前に現れてくださいます。」

1ヨハネ2:8、

「闇が消え去り、まことの光がすでに輝いているからです。」

この言葉は確かにそれらの聖句で描写されてい

るように、部分的な認識に相反する意味で、完全なる認識を表しており、そこから私たちは本型と象徴、実体と影の相反する意味を理解することができます。天からのマナの例を見てみましょう。神は天の上から天使の食べ物をイスラエルに送りました。しかしそのマナは満足させるものではありませんでした。それは一日のみ食べられました。それを食べた者は次の日もお腹が空きます。もしそれが残ったならば次の日に腐ってしまいます[出エジプト16:17-20]。しかしイエスは天からのまことのパンで、マナはただの象徴なのです[ヨハネ6:31-25,48-51,58]。その天からのパンを食べた者は再び飢えることはありません。もう一度戻って食べる必要はありません。もはや象徴は必要ありません。それを食べた時に永遠のいのちを持ちました。これが確かに実体です。影はもはや必要ありません。部分的な贖いは必要ありません。ここに完全なものがあります。このことは、イエスは部分的な神ではなく、神そのものであるのと同じです。

イスラエルは光を持っていたのを否定できる人はいません。彼らは唯一ひとつの国として光を持っていた人々です。それはエジプトがあまりにも闇に満ちて、その闇は感じられることができた時でした。しかしイスラエル人の家の中には光がありました。しかし今真の光が来ました。世界の光はイエスです。モーセや

認識と反対な意味で、完全なる認識を表しています。

例えばイエスがヨハネ6:32に言われたことを思い出してください、

「モーセがあなたがたに天からのパンを与えたのではありません。わたしの父が、あなたがたに天からのまことのパンを与えてくださるのです。」

ヨハネ15:1、

「わたしはまことのぶどうの木」

ヘブル9:24、

「キリストは、本物の模型にすぎない、人の手で造られた聖所に入られたのではなく、天そのものに入られたのです。そして今、私たちのために神の御前に現れてくださいます。」

1ヨハネ2:8、

「闇が消え去り、まことの光がすでに輝いているからです。」

この言葉は確かにそれらの聖句で描写されてい

るように、部分的な認識に相反する意味で、完全なる認識を表しており、そこから私たちは本型と象徴、実体と影の相反する意味を理解することができます。天からのマナの例を見てみましょう。神は天の上から天使の食べ物をイスラエルに送りました。しかしそのマナは満足させるものではありませんでした。それは一日のみ食べられました。それを食べた者は次の日もお腹が空きます。もしそれが残ったならば次の日に腐ってしまいます[出エジプト16:17-20]。しかしイエスは天からのまことのパンで、マナはただの象徴なのです[ヨハネ6:31-25,48-51,58]。その天からのパンを食べた者は再び飢えることはありません。もう一度戻って食べる必要はありません。もはや象徴は必要ありません。それを食べた時に永遠のいのちを持ちました。これが確かに実体です。影はもはや必要ありません。部分的な贖いは必要ありません。ここに完全なものがあります。このことは、イエスは部分的な神ではなく、神そのものであるのと同じです。

イスラエルは光を持っていたのを否定できる人はいません。彼らは唯一ひとつの国として光を持っていた人々です。それはエジプトがあまりにも闇に満ちて、その闇は感じられることができた時でした。しかしイスラエル人の家の中には光がありました。しかし今真の光が来ました。世界の光はイエスです。モーセや